

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年2月15日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103524
法人名	医療法人 起生会
事業所名	グループホーム ハートフル林
所在地	鹿児島市西田三丁目15番5号 (電話) 099-257-6977
自己評価作成日	平成27年1月8日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成27年2月5日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・同法人の医療機関との連携で、ご家族からは安心・安全の介護が提供がなされているとの評価を得ている。  
・介護においては常に優しさと思いやりの心を持ち、入居者様に敬意を持って接するものとし、入居者様の適正なご要望にも応えるサービスを提供できるように、笑顔と明るさが漂う施設を目指して誠心誠意、職員一同尽力しています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

以前、病院だった4階建ての建物を活用し、2階と4階の2ユニットで開設されているグループホームである。鹿児島の拠点駅である鹿児島中央駅近くの利便性の良い場所に位置しており、市街地の中に在っても、静かで落ち着ける環境が保たれている。利用者の体調や気候に応じて季節の野菜や花を楽しむ為に4階には広いベランダ菜園も用意されている。母体の医療機関は、散歩を兼ねて車椅子での通院も可能な近距離にあり、24時間医療連携体制が確保されており利用者、家族の大きな安心に繋がっている。  
自治会に加入し、地域の夏祭りや敬老会への参加は恒例になっており、地区の防災訓練での炊き出しには地域の一員として参加している。学生のサマーボランティアや歌や踊りのボランティアの受け入れなど、折に触れ、地域との交流を積極的に持てるように職員が一丸となって努力している様子が伺われる。  
広々とした共用空間や居室は家族をはじめ、来訪者が利用者と同様とした触れ合いの時間を過ごせる造りになっており、のどかな雰囲気が伝わってくる。職員間の密な連携による見守りと手厚いケアのもと、利用者が日々の生活を穏やかにのんびりと暮らしているグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	(2F) 事業所の理念である「優しさと思いやりの心」を持って入居者に接し、病院との連携による「安心・安全の介護」が提供できるよう実践に努めている。	基本理念宣言を根幹に「優しさと思いやりの心」を持って傾聴と受容を大切に職員で意思統一を図り、利用者に寄り添うケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	当事業所管内には西田文化協会と言った活発な町内会があり、協会主催の行事（夏祭り、敬老会、防災訓練等）には積極的に参加して地域交流を図っている	町内会加入や運営推進会議をパイプとして情報収集をしている。地域のふるさと祭りや敬老会、防災の炊き出し参加やボランティアの受け入など折に触れ、交流の機会を多く持てるように努力している。ホーム側の情報発信の工夫は今後も継続の意向である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	家族会で認知症サポーター養成講座を開催し、ご家族に正しく認知症を理解して頂き、今後其々の生活の場で、出来る範囲でのサポーターとしての役割を果たして頂けるように企画した		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議年6回実施。サービス内容等活動報告をして、忌憚のないご意見を伺い、施設運営に反映させ、サービス向上につなげている。	家族代表、民生委員、長寿安心センター職員、その他、ケアサポートセンターから参加増員もあり、より密な地域情報も得られ、提案や意見をケアに反映している。インシデント、アクシデントに関してもホームの現状や理解を得られるようにガラス張りの報告を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括Cの運営推進会議への出席、いきいきポイント推進事業の参加、認知症サポーター養成講座の開催、介護相談委員の受入れなど機会あるごと連携して協力関係を築いている。	運営推進会議への出席や介護相談員の活用、認知症サポーター養成講座の開催など、協力関係や連携をとり良好な関係が保たれており、双方で情報交換も出来ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月1回院内身体拘束委員会に代表が参加している。又身体拘束の施設内勉強会も開催して、職員全員正しく理解している。やむを得ず実施している入居者に対しては解除に向けた話し合いも実施している。	重要事項説明書に、ホームの方針として緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束をしないケアの実践を明記している。職員は法人研修や内部の勉強会で拘束についての弊害を正しく理解し、言葉遣いにも注意を払い、見守りの連携で利用者の行動や自由を尊重したケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の施設内勉強会も実施して職員全員正しく理解して防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用されていた入居者もいたので職員全員理解出来ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に管理者及びケアマネ立会いによる重要事項説明及び契約書内容等の説明を行い同意のもと契約を結んでいる。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	アンケート調査や日常の相談・要望等について可能な限り解決に向け尽力している。アンケート調査等では必ず公表してご家族の手元に回答書を届けている。苦情、相談等に関しては第三者委員会に年1回の報告会を実施している。	年2回の家族会も半数以上の参加を得て行われ家族間の触れ合いもあり、活発な意見が出されている。アンケートも実施しており、集計報告と要望等の対応もしっかり家族に返答している事で、家族との信頼関係ができています。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年度計画作成にあたり職員アンケートを実施、又月1回の職員ミーティングを行って意見交換を行い運営に反映させて目標指針としている。	月1回のミーティングは全員参加で行われ、職員が当番制で司会と議題を受けもち、毎回、意識の高い会議になっている。家族アンケート結果を踏まえ、職員各自が改善点や要望などの検討を提出し、サービスの質の向上に役立っている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の努力や実績は人事考課で評価する制度が確立している。それが、昇給、賞与に反映されている。自己啓発により資格取得すると手当等に反映されている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>時間の許す限り積極的に社協、GH連絡協議会、その他関連機関が主催する勉強会には順次参加させている。又資格取得も支援している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>GH連絡協議会、地域包括C主催行事(前年度、城西連絡会で相互訪問により他施設との比較・検討など)には積極的に参加し交流を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	関係機関より情報を頂き、その情報を基にケアマネ、看護師が連携して本人にとって何が必要なのかコミュニケーションを取りながら入居者との関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	関係機関より情報を頂き、その情報を基にケアマネ、看護師、担当者が連携して本人から聞き出せない要望や相談事をご家族から聞けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者、ご家族との話し合いで、本人の現状を素直に受け入れ、当面必要な事項を優先し、ケアマネ、看護師、担当者が本人を見極めながら次のステップへと進めるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様とコミュニケーションを取り、本人の様子に合わせて対応をして、可能な限り要望に応えられるように心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	私共より積極的にご家族に声かけをし又書面による近況報告（月1回）や口頭による日常生活の報告等を実施して共通認識を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	西田地区の入居者は敬老会、夏祭り等に参加され、ご近所様との会話を楽しまれている。他の入居者はできる限り、事前に思いつきの場所などを聞き、外出するときに取り入れるようにして機会を作っている。	家族や親戚の面会は多く友人、知人の来訪がある利用者もあり、談笑し易い雰囲気作りに心掛けている。手紙やハガキ、電話など、遠方の方との関係継続も支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	2F・4Fの合同茶話会を実施して気兼ねなく談笑できる雰囲気作りに努めている。又月々の壁絵を入居者全員、共同作業で創作を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	同一法人内の病院に入院されている方のお見舞いに行ったりして様子をうかがっている。施設便り等も発送して活動報告をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いなど理解してない部分もあるのでご家族から代弁的な要望等を聞きながら又入居者に小まめに声かけして寄り添いながら接している。	殆どの利用者が意思伝達が可能であるが、明確な意思表示ができない利用者に対しては優しい声かけや対応で信頼関係を築けており、表情や所作での汲み取りに努めている。家族も代弁者になっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	関係機関より知り得た情報を基に、担当職員がインテークの際聞き取りを行っている。本人、ご家族にサービス担当者等を活用し把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日、記録を行い申し送り等を通じて把握に努めている。利用者個別処遇マニュアルも作成している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネ、看護師、担当者を含め定期的にモニタリングを行い又ご家族よりの要望やご意見も反映されるような介護計画を作成している。	利用者や家族の要望を聞き取り、計画作成担当者を中心に、職員間で情報を把握し利用者の現状に即した介護計画の作成をしている。病院受診など、家族も共に本人を支えられる様に家族支援も盛り込まれている。3カ月毎に実施状況の点検とその評価を行い、常に利用者主体の暮らしぶりを反映した介護計画になるように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録は日々の介護面及び看護面を記録して又特記事項簿には気づき事項も記録しながら介護計画の参考にしている。又職員間での申し送りや送りノートの記載などもしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療連携によりリハビリの送迎、訪問マッサージの取り入れ、場合によっては訪問ヘルパー（移動介助）の利用等の活用も行っている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	西田文化協会主催行事の参加、常盤町踊り連の受入、サマーボランティア、介護実習生の受入、理美容サービス等々により入居者との触れ合いを大切にしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	外科、歯科、皮膚科などは入居者のかかりつけ医による往診をお願いしている。又入居者の不穏時は地域連携を図っている病院に相談・助言を頂いたり、往診の支援も受けている。	法人の医療機関を掛りつけ医としている利用者が殆どである。他科受診や状況に応じた地域の認知症専門医の往診も可能である。夜間帯や状態変化に対応した24時間医療連携体制は利用者、家族の安心につながっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師及び介護職員による細やかなケアにより主治医との連携が取れており、何かあれば即対応して頂く体制が確立している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>看護師及び介護職員による病院との連携はスムーズに行われる体制が出来ている。入院時でもその都度様子観察に伺ってて状況把握に努めている。連休時には入居者の情報提供も行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時や病状の安定が保てなくなった際、終末期医療の意向書を書いて頂き、職員、主治医、ご家族と入居者への方針を共有化し支援している。</p>	<p>終末期医療に関する文書を作成しており家族へ説明し、同意を得ている。主治医の指示に従い、医療処置を伴う状態になるまでは職員全員でホームとして出来る最大限の支援に取り組み家族との方向性を共用している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>病院との連携が確立されて居るのでマニュアルがあり職員が確認出来るように掲示している。フロア看護師も即対応出来るように確立している。又定期的に勉強会も実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防火訓練も年4回実施している。西田地区での炊き出し訓練には地域の一員として参加している。今後GHへの協力体制が構築出来るように交流を図っている段階である。</p>	<p>消防署指導の夜間想定の定期訓練の他、同ビルの他事業者と合同の自主訓練を年2回行っており協力が得られる関係である。立地的にビルやマンションが多いが、町内会や運営推進会議を通して地域住民にむけての避難訓練への参加などの協力呼びかけを継続していく意向である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりと話をし、傾聴している。接遇の勉強会も行い、利用者を尊重した思いやりのある言葉使いが出来るよう話し合いをしている。	マニュアルを作成し研修を行っている。羞恥心や言葉遣いには特に気を配り、利用者の誇りを大切にされた対応に努めている。居室のドアは閉め切らずに板を挟み、プライバシーに配慮しながらもリスク管理の見守り行う工夫もしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとり希望を聞ける時間を作っている。状況に応じて利用者が自己決定出来るように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活歴に添いどのような事を望んでいるのかを知り、個々のペースに合わせて支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	朝はホットタオルで顔を拭き髪を整えている。洋服、パジャマなど利用者の好みで選択している。散髪は訪問で定期的に行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の野菜を取り入れて彩り良く、目でも楽しめる盛り付けに注意している。大きさや軟らかさなど一人ひとりの好みに合わせている。又盛り付けやお盆拭きなど手伝ってもらっている。	不穏な利用者は本人が落ち着ける場所で食事ができるように配慮している。メニューは職員が立案し、食事の量や形態など利用者個々に気を配り、行事食や誕生食などを通して季節感や喜びを感じ取れる食の工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量を毎食記録し、足りない場合はカロリー飲料や果物など召し上がって頂いている。午前、午後とお茶の時間を設け、水分摂取を勧めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりに応じた口腔ケアを行っている。自立の方に関しても最後に確認している。又マウスウォッシュなども併用し、義歯は夜間に洗浄剤に浸けてる。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	食後やお茶の時間の後など本人確認し、トイレ誘導を行っている。夜間もポータブルトイレを設置し自立して排泄出来るよう支援している。	個々の排泄パターンを職員間で把握しており、適時の声掛けで誘導をしている。排泄後の水洗の手助けなどの他、一部介助の利用者が多く、夜間帯もポータブルを使用するなどし、出来るだけトイレでの排泄の自立に向け、改善や維持に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりに応じた水分摂取を行っている。お茶の進まない方には他の飲み物を提供している。お茶の時間にはDVDを観ながら職員と一緒に体操を行っている。又食事に食物繊維の多い物を取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	リハビリやマッサージのスケジュールに合わせ、出来るだけ本人の意志を尊重している。	入浴が始まる前に早めの声掛けをしている。無理強いせずにゆったりした気分で職員との会話を楽しみながらの入浴しており、リラックスタイムになっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのペースや体調に合わせて居室やベッドで休んで頂いている。温室や湿度も快適であるように注意している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期的な病院受診を行い担当医と連携し、病状報告を行い服薬の調整をしている。又ダブルチェックで服薬確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの状況に合わせて工作や料理の手伝い、お盆ふきなどをして頂いている。畑にある野菜や花の収穫も行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	四季折々のイベントで花見やお祭り、神社参りなど行っている。ご家族の協力を頂き、散歩や外食に行かれている。	四季を通した多彩な年間行事では家族支援も得ながら外出の機会を持っている。日常的には近距離の医療機関へのリハビリに車椅子で出かける機会もあり、近隣の住宅の庭先に季節を感じたり、日曜日には買い物に行くなどの個別支援もしている。菜園のある広々とした4階のベランダは陽当たりが良く、外気浴に適した空間である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理は事務所で行っており、週1回個人分は入居者様に希望を聞いて買い物に行くように努めている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>必要に応じて入居者様一人ひとりに合った対応を心掛けています。電話や手紙などの対応の出来ない入居者様には出来るだけご家族に対して来所して頂けるよう協力を求めている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関やフロアに季節の花を飾ったり、レクリエーション時に皆様で作った絵を壁に貼ったりし、季節を感じてもらうよう工夫を行っている。</p>	<p>リビングは日当たりも良く、広々としており、清掃も行き届いている。廊下には利用者と職員で作った季節を感じ取れる作品や行事写真が貼られており、利用者の生活の様子が伺える。好きな場所でくつろげるように、適所に椅子やソファを置きゆったりと自由にくつろげる共用空間が保たれている。リビングの窓越しに行き交う、新幹線を遠目に臨む機会もある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>10時にはフロアに入居者皆様に集まってもらい、談話、茶話会の出来る時間を設けています。15時にはフロアにて茶話会を行い、その後レクリエーションの時間を設け、楽しんで体を動かせるような工夫をしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	可能な限り使い慣れた物を持ち込んで頂き、自宅で生活されていた時のように居心地良く過ごして頂けるように工夫してる。	病棟の再活用に依り広さの異なるタイプ別の居室になっている。テレビ、冷蔵庫、家族面会時のテーブルセットなど個々の希望の物を置いたり家族写真や遺影など馴染みの深い品々を飾り、自宅の一室の様に安心して過ごせるプライベート空間になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	洗濯物を干したり、たたまれたり、シーツ交換や食材の皮むき等のお手伝いをして頂いている。トイレ、洗面台等の表示を分かりやすくし、自立出来るような環境づくりを行っている。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない